

# こども署名



## 中学校を終えるまで

- こどもの医療費を無料に
- 30人学級の実現を

「こども署名」のアピール

### 「こども署名」を全県で大きくひろげましょう

少子化が進むなか、子育てのための支援は、すべての県民の願いです。

しかし、子どもをめぐる政府の対策は、まだまだ進んでいません。中でも、医療費の負担は子育ての大きな不安となっています。

また、少人数学級が一部で進みだしましたが、子どもの落ちつきや授業への集中が大きく異なることが報告されています。

未来は子ども達のもので、子ども達が健やかに成長し育つために医療費は義務教育を終えるまで無料にすること、少人数学級を全学年で実施することは、国が行うべき最優先の仕事ではないでしょうか。

私たちは、兵庫県知事が県民を代表して、国に対してその実現を強く求めること、そして兵庫県が自ら率先して踏み出す事を求めます。

県民のみなさん。

医療費無料化や少人数学級の実現は、一部の地域や学年ではすでに始まっています。

これを兵庫県のすべての子どもにひろげようではありませんか。そのためには県が実施する以外にありません。

あなたの願いを、みんなの願いに広げ、「子育てするなら兵庫県」と全国に誇ることのできる、兵庫県にしようではありませんか。

すべての県民のみなさんへ「こども署名」のご協力を訴えます。

呼びかけ人一同



### 【呼びかけ人】(あいうえお順)

(8月31日現在)

安藤 貴美 (小児科医、東神戸病院)

池内 春樹 (小児科医、兵庫県保険医協会理事長)

石川 廣宏 (神戸女学院大学教授、憲法が輝く兵庫県政をつくる会代表幹事)

井之口利子 (兵庫県商工団体連合会副会長)

荻野 潤子 (日本民主青年同盟兵庫県委員長)

落合 愛子 (歯科医師、兵庫県保険医協会副議長)

桂 伸二郎 (兵庫教職員組合執行委員長)

菅 純二 (小児科医、尼崎医療生協病院)

岸本 友代 (新日本婦人の会兵庫県本部会長)

木村 彰宏 (小児科医、いたやどクリニック)

合田美恵子 (小児科医、尼崎医療生協病院)

合田 翠幸 (兵庫県民主医療機関連合会会長)

兒玉 幸子 (姫路めばえ保育園園長)

杉島寿美子 (子どもの権利のための国連NGO DCI兵庫 事務局長)

田村 忠之 (歯科医師、兵庫県保険医協会歯科部会長)

津川 知久 (兵庫労連議長、兵庫県高等学校教職員組合委員長)

徳永 清理 (尼崎・おさなご保育園園長)

富永 弘久 (小児科医、尼崎医療生協病院)

中島 泰子 (神戸・太田共同保育園園長)

中村まさひろ (日本共産党兵庫県議団長)

藤岡 一郎 (小児科医、尼崎医療生協病院)

増田 百代 (兵庫県保育所運動連絡会副会長)

森岡 芳雄 (小児科医、東神戸病院、兵庫県保険医協会理事)

森下 順彦 (小児科医、兵庫県保険医協会理事)

# こどもの医療費の完全無料化、 30人学級の実現を求める署名(こども署名)

いま私たちは、こどもの笑顔に励まされながら、仕事や子育てに懸命に取り組んでいます。子育ての大きな不安に「こどもの病気」と「教育問題」があります。

こどもは病気にかかりやすく、重症化することもあり、早期発見・治療が何よりも大切です。少子化対策・子育て支援にとっても医療費の無料化が大きな力となります。全国的には、中学校卒業まで医療費が無料の自治体も多くなってきています。県内でも就学前まで無料にし、小・中学校にも補助をひろげる自治体もあります。

また、教育を充実する要求はますます強まっていますが、2004年から兵庫県で実施された35人学級は、小学校2年生までしか実施されていません。

先進国で40人学級は日本と韓国だけとなり、欧米では20人程度が当たり前です。

保護者や教育関係者の願いは、義務教育の学年すべてで少人数学級を実現することです。

どちらも国が責任を果たすと同時に、県として県民の願いを実現するための取り組みが求められています。

よって、下記事項の実現を強く求めます。

## 【要求事項】

1. 国に対し、こどもの医療費無料制度の創設、少人数学級の実現を強く求めること。
2. 兵庫県のすべてのこどもの医療費を、義務教育終了まで完全無料化すること。
3. 兵庫県の少人数学級・30人学級を、義務教育の全学年で実施すること。

おなまえ	おところ

取扱団体〔 〕